

# 要 覧

平成18年度

宮 城 県 図 書 館

## 目 次

1	宮城県図書館基本方針	1
2	宮城県図書館資料収集方針	3
3	組織・機構	5
4	職員	6
5	平成18年度予算の概要	7
6	平成18年度主要事業	
	(1) 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業	8
	(2) 生涯学習関連事業	8
	(3) 市町村図書館等活動支援事業	9
	(4) 図書館振興事業	10
	(5) その他	10
7	平成18年度協力業務予定表	11
8	宮城県図書館協議会	12
9	平成17年度利用統計	
	(1) 開館日数・入館者数・個人貸出冊数・図書館間貸借冊数・調査相談件数	13
	(2) 複写サービス状況	13
	(3) 利用登録者数（個人）	14
10	所蔵資料整備状況	
	(1) 図書資料・視聴覚資料	15
	(2) 逐次刊行物所蔵タイトル数	15
11	所蔵資料目録刊行状況	16
12	特殊文庫	17
13	図書館のあゆみ	18
14	施設概要	21
15	利用案内	22

# 1 宮城県図書館基本方針

## 基本方針

県図書館に収蔵される先人の叡智の集積を活用し、未来へ伝えることを通して、宮城の輝かしい発展、活力ある日本の再生に貢献する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を積極的に進める。

## 目標

- 1 県図書館の過去700年にわたる「叡智」の集積を最大限に生かし、次代を担う人々に拠って立つ故郷の薫り高い歴史や文化を伝えると共に、全国に発信するための環境整備を行う。
- 2 生涯学習の拠点・地域の資料保存センターとして必要な資料の収集・保存、継承に努めると共に各種サービスの向上を図る。
- 3 全ての県民が図書館サービスを楽しむことができるように、市町村へ積極的に支援する。
- 4 高度情報社会に対応したサービスの向上を図るため、コンピュータやネットワーク技術を積極的に活用し、図書館サービス網の整備を促進すると共に情報機器を使いこなす能力向上に努める。
- 5 県民の学習・調査研究・企業のビジネス活動・子ども読書活動の推進に努める。
- 6 時代の変化や県民の学習ニーズに対応した生涯学習事業の推進に努める。
- 7 生涯学習・情報発信の中核施設として施設の整備、人材育成等に努める。

## 施策と事業

- 1 22世紀を牽引する叡智の杜づくり
  - (1) 古絵図・古地図・貴重図書の修復・保存
  - (2) 国・県指定文化財のデジタル化及びレプリカ作成
  - (3) 国・県指定文化財のインターネット公開
  - (4) 宮城県図書館貴重資料の宮城県文化財指定に向けての環境整備
  - (5) 次世代を担う人材育成のために、貴重資料、古典、名作等の複製資料の高等学校等での移動展示
- 2 図書館資料等の整備充実・利活用
  - (1) 図書館資料の広範な収集及び整備保存の充実
  - (2) 図書館サービスの充実
- 3 調査研究と相談機能の充実及び生涯学習機会の提供
  - (1) レファレンスサービスの充実
  - (2) レファレンス事例集等の作成配布
  - (3) インターネット等による調査研究機能の整備
  - (4) 図書館ボランティア活動の支援
  - (5) 各種講習会、上映会、子どもの本展示会、おはなし会・紙芝居上演会等の開催
  - (6) みやぎ子ども読書活動推進計画に基づく学校支援、総合的な学習への支援
- 4 市町村図書館等への活動支援と職員研修の充実
  - (1) 図書館資料の協力貸出事業の推進と公共図書館連絡会議の開催
  - (2) 図書館の整備・運営に関する助言
  - (3) 公共図書館等職員研修会等の開催
  - (4) 図書館間の相互協力体制の強化と充実
  - (5) 宮城県図書館協会、北日本図書館連盟等との連携、協力

- 5 宮城県図書館情報ネットワークシステムの整備・充実
  - (1) 図書館情報ネットワークシステムの拡充
  - (2) インターネットでの蔵書検索サービス等の提供, ホームページの公開, インターネット端末の館内利用
  
- 6 生涯学習事業の推進
  - (1) 生涯学習相談事業の実施
  
- 7 管理・運営体制の充実
  - (1) 施設設備の整備
  - (2) 各種媒体を活用した広報活動の充実
  - (3) 職員の資質向上
  - (4) 宮城県図書館協議会の開催

## 2 宮城県図書館資料収集方針

### 第1 目的

宮城県図書館（以下、本館）は、全ての宮城県民が目的に合わせた知識や情報を入手して、生活の向上、地域社会の発展に貢献し、広く文化的な営みをもつための欠かせない施設として存在する。また、本館に収蔵される叢智の集積を全国へ発信し、かつ、未来へ伝える責務を担う。

前述の目的に鑑み、本館は公平かつ長期的な視点に立って、公共図書館として備えるべき適切な蔵書構成の実現に努める。

以上の拠り所として、本収集方針を定め、図書館員共通の理解のもとで運用する。

県民の知的関心に応えるとともに、効率性の高い資料収集の実現を期す証として、本収集方針を公開し、今と未来の県民から評価の得られる蔵書形成をめざす。

### 第2 資料収集にあたっての要諦

- 1 県民の「知る自由」とニーズに基づき、かつ本館の目的に適う資料の収集に努める。ニーズには、リクエストを含む県民の直接的要求、潜在的な要求及び未来の需要を合わせて配慮する。
- 2 蔵書構成上、必要な資料の収集に努める。類書、代替資料等の存する場合には精選し、効率的な収集に努める。
- 3 時間の経過にあっても輝きを失わない資料の収集に努める。
- 4 本館が教育機関であることに十分に留意し、県民の生涯学習と次世代の育成に役立つ資料の収集に努める。
- 5 市町村図書館や図書館未設置市町村の読書施設等を支援する中核施設として、その機能を積極的に努める。

### 第3 収集資料ごとの留意点

収集する資料ごとの留意点は次のとおりとする。

各資料の選定に関わる詳細は別途に定める「宮城県図書館資料選定基準」（以下、本館資料選定基準）に従うものとする。

#### 1 図書

県民の知的関心に応え得る蔵書形成を図るため、新刊図書は幅広く収集する。通俗書、娯楽書については精選する。類書、代替書のある場合には、蔵書構成上の必要性を見極める。既刊図書は古典的名著、戦前に出版された資料等を中心に必要なものを収集する。

#### 2 参考図書

学術的・教育的・社会的に有用なものを幅広く収集する。

#### 3 児童資料

子どもたちの豊かな心と創造性を育む資料について幅広く収集する。保存用児童資料については全点の収集を図る。児童資料に関わる研究資料についても収集対象とする。

#### 4 外国語資料

基本的資料および日本に関する資料を中心に収集する。英語、中国語、ハングル文字で書かれた資料を中心とし、その他の言語については必要に応じて収集する。

#### 5 逐次刊行物

新聞については全国紙のほか東北、北海道における地方紙も対象とする。専門紙および機関紙は精選する。雑誌については各分野の主要なものを中心とする。年鑑・年報類については、調査研究に有用なものを収集する。市販されていない学術誌、専門誌、研究紀要等については留意する。

#### 6 視聴覚資料

カセットテープ・CD、ビデオテープ・DVD等の視聴覚資料は、県民の教養・文化の向上に役立つ資料を精選して収集する。宮城県に関わる資料、宮城県内で制作された資料については積極的に収集する。

#### 7 電子資料

内容、検索の多様性、操作性等を考慮して収集する。

#### 8 障がい者サービス資料

「バリアフリー図書館」を実現するために、録音資料、点字新聞・雑誌、さわる絵本、字幕・手話付きビデオ等の資料を積極的に収集する。

#### 9 宮城資料

宮城県および旧仙台藩領等関係地域に関する資料、宮城県人の著作物、宮城県内で発行された著作物や行政資料等を重点的かつ網羅的に収集する。

#### 10 古典籍

仙台藩関係のものを中心に内容的にも優れた和漢の古典籍を収集し、開館以来蓄積してきた古典籍の一層の充実に努める。

### 第4 資料収集の方法

1 購入、寄贈、管理換え、交換等により収集する。

2 とくに蔵書構成上必要であって、市販されていない資料、一般の流通ルートによらない資料については、積極的かつ的確な収集を図る。

### 第5 資料選定の組織

1 資料の選定については、「宮城県図書館資料選定委員会」（以下、資料選定委員会）が本収集方針及び別途に定める本館資料選定基準に基づいて行う。

2 資料選定委員会の運営に関わる事項は別途に定める。

### 第6 本収集方針の運用

1 本収集方針を改定する場合は図書館長の決裁による。

2 本収集方針に定めるもののほか、資料収集方針に関わる必要な事項は、その都度資料選定委員会に諮るものとする。

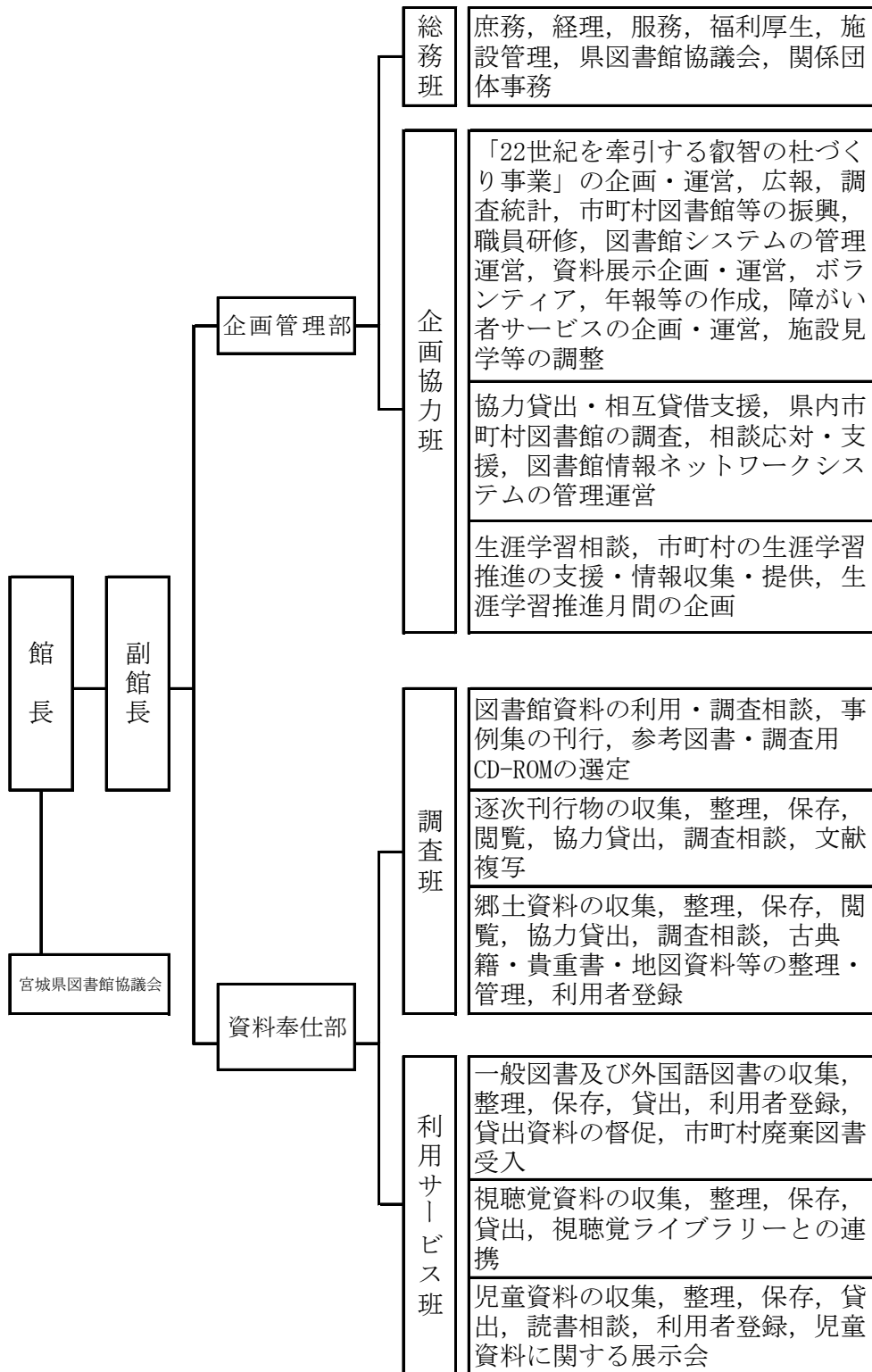
3 本収集方針は宮城県図書館ホームページ他において公開する。

#### 附 則

この方針は、平成17年4月1日から施行する。

### 3 組織・機構

(平成18年4月1日)



## 4 職員

(平成18年4月1日)

館 長 伊 達 宗 弘  
副 館 長 堀 村 廣 雄

### ○企画管理部

部 長 飯 川 皓  
次 長 (総括担当兼総務班長) 長 尾 徳 治  
主 幹 菊 地 喜 和 子  
主任主査 高 橋 淳 子  
主 査 吉 田 光 輝  
主 事 志 賀 秀 明  
主任主査 (企画協力班長) 内馬場みち子  
主 査 野 澤 郁 晃  
主 査 後 藤 靖 彦  
主 事 嵯 峨 進  
主 事 堀 江 聡  
主 事 田 中 亮  
主 事 田 村 さ お り  
主 事 佐 尾 博 基

### ○資料奉仕部

部 長 大 林 茂  
次 長 (総括担当) 菅 原 泰 博  
主 幹 (調査班長) 安 川 潔  
主任主査 佐 藤 睦 美  
主任主査 田 中 則 行  
主任主査 長 谷 川 芳 江  
主 事 今 村 幹 子  
主 事 管 野 裕 美 子  
主 事 佐 々 木 英 樹  
主 事 石 川 博 子  
主 事 熊 谷 慎 一 郎  
主 事 岡 本 真 澄  
主 幹 (利用サービス班長) 渡 邊 明 彦  
主 幹 大 和 田 順 子  
主 幹 千 葉 哲  
主任主査 只 野 義 広  
主 査 倉 田 信 広  
主 査 加 藤 直 子  
主 事 梶 本 哲 弥  
主 事 沼 倉 真 妃 恵  
主 事 田 代 恭 子  
主 事 柴 田 香 織  
主 事 太 田 美 喜  
主 事 一 條 ち か 江

### ○職員数

( ) : 司書・司書補有資格者内数

職 名	館 長	副 館 長	部 長	次 長	主 幹	主任主査	主 査	主 事	計
人数	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (1)	5 (2)	6 (4)	5 (1)	18 (10)	40 (18)

嘱 託	相 談 員	臨 時 職 員	計
18 (17)	2	25 (2)	45 (19)



## 5 平成18年度予算の概要

(単位：千円)

区 分	予 算 額 (17年度当初)	概 要
管 理 経 費	250,610 (274,671)	本館の運営維持費（定員内職員の人件費を除く）
図 書 館 協 議 会	451 (451)	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	21,438 (26,081)	機器使用料，消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	92,575 (69,104)	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	1,105 (1,531)	主催事業，広報等に要する経費
資 料 購 入 費	58,269 (83,240)	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	24,416 (34,880)	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合 計	448,864 (489,958)	

## 6 平成18年度主要事業

### (1) 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業

#### ＜貴重資料の修復・保存＞

事業名	内容	期間(予定)
貴重資料の体系的学術調査	大学・学術研究機関等の研究者により実施し、専門調査事業報告書を作成する。	随時
修復・保存レプリカの作成	『仙台城下絵図』等を文化財保存修理所(京都)で修復し、レプリカと高精細画像データを作成する。	随時
修復成果品レプリカの発表・展示	本館展示室はじめ県庁ホール、県内の高等学校等で巡回展示する。さらにWeb版「叡智の杜」として公開する。	随時

#### ＜次世代育成プロジェクト＞

事業名	内容	対象	期間(予定)
古典への誘い	『源氏物語』『徒然草』など古典文学複製資料の巡回展示。資料作成等を生徒が担当し、学校と協働する。	高等学校、図書館、公民館	随時
名作への誘い	夏目漱石『吾輩は猫である』、芥川龍之介『羅生門』等、複製本を貸出し、読書への興味を喚起する。	高等学校、図書館、公民館	随時
閉架書庫の見学	高等学校図書館勤務の学校司書を対象に実施。宮城県図書館資料の活用を促す。	学校司書	随時
宮城県図書館紀要『叡智の杜』への学校司書等の参加	宮城県図書館紀要『叡智の杜』への学校図書館司書等の参加を促し、学校図書館との連携の一助とする。	学校司書等	3月
文化財レプリカの移動展示	貴重資料『坤輿万国全図』『禽譜』『魚蟲譜』等のレプリカの貸出を行う。	高等学校、図書館、公民館	随時
子どもの本の移動展示会	恒例の展示会を小・中学校に会場を広げて開催する。	小・中学校	5月～2月
貴重図書等の企画展示会	図書館職員による自主企画展を開催する。	一般県民	随時
プロジェクト22	図書館職員による研究成果等を県民に提供する。	一般県民	6月～2月

### (2) 生涯学習関連事業

事業名	内容	対象	期間(予定)
子どもの本展示会	過去1年間に刊行された児童図書の中から1,500点を展示、児童図書選択の情報を提供する。	図書館職員 公民館図書室担当者 一般県民	4月21日(金) ～5月7日(日)

事業名	内容	対象	期間(予定)
おはなし会・紙芝居上演会	絵本・紙芝居の楽しさを共有・共感する機会を提供することにより、子どもを読書及び図書館利用の慣習化へと導く。	一般県民	毎月第1水曜日
音楽鑑賞講座	クラシック音楽の作曲家や演奏家、時代背景等についての講義と、鑑賞会を行うとともに、生の演奏を鑑賞する機会を設けることにより、県民のクラシック音楽に関する学習ニーズに応える。	一般県民	7月15日(土)
家族で楽しむ映画会	心の交流を対象とした内容の映画会を通じて、家族間のコミュニケーション、交流の機会を提供し、家族の絆の深化、家族の教育力の向上を支援する。	一般県民	7月22日(土)・23日(日) 12月23日(土)・24日(日) 3月24日(土)・25日(日)
上映会・コンサート	図書館所蔵の視聴覚資料(ハイビジョンLD, LD, ビデオ, DVD, CD)を活用した上映会, コンサートを通じて県民の多様な学習ニーズに応える。	一般県民	毎月第2, 第4土・日曜日
生涯学習推進月間	生涯学習に関する展示や講演会, サークル発表等を開催する。	一般県民	10月
エル・ネット「オープンカレッジ」(文部科学省委託事業)	衛星通信による各大学の公開講座を視聴する場を提供する。	一般県民	随時(5月～2月)
図書館ボランティア研修	ボランティアに必要な図書館活動等の考え方や技術の理解を促す。	図書館ボランティア	随時
文化ボランティア推進モデル事業(平成18年度文化庁委嘱事業)	本館ボランティアについて, 研修の実施, さらに市町村図書館, 公民館図書室のボランティアとの交流事業を行う。	図書館ボランティア登録者等	4月1日(土) ～2月12日(日)

### (3) 市町村図書館等活動支援事業

事業名	内容	対象	期間(予定)
公共図書館連絡会議	図書館の運営や相互貸借に関する情報交換を行う。	図書館職員	4月20日(木) 10月12日(木)
公共図書館等初任者研修会	県内市町村図書館等の初任職員を対象に図書館職員としての基本的な研修を行う。	勤務経験2年以内の図書館職員, 公民館図書室担当者	4月27日(木)
公共図書館等職員研修会(1, 2)	県内市町村図書館等職員としての資質向上を図るための研修を行う。	図書館職員 公民館図書室担当者	研修1: 9月14日(木) ～15日(金) 研修2: 1月18日(木)
公共図書館長研修会	図書館長としての知識・技能の向上のための研修を行う。	図書館長, 公民館長	5月12日(金)

事業名	内容	対象	期間(予定)
公民館図書室研修会	公民館図書室運営上の基本的事項について研修を行う。	公民館図書室担当者	9月21日(木)
学校・図書館連携活用研究会	図書館資料等を活用した教育活動について研修等を行う。	教員 学校図書室司書 図書館職員	8月23日(水)
読書活動研究集会	子どもの読書に関する活動や図書館サービスについて、実践報告や研修、活動する人々との交流を行う。	図書館職員 一般県民	12月14日(木)

#### (4) 図書館振興事業

事業名	内容	対象	期間(予定)
宮城県図書館振興講演会	まちづくりにおける図書館の意義と各地での活動等を紹介し、図書館設置に関する機運の醸成を図る。	一般県民 行政関係者	5月27日(土) 大和町まほろばホール
図書館未設置町村巡回	図書館設置町村の状況把握と設置促進を図る。また、設置に向けて支援する。	該当自治体	随時

#### (5) その他

事業名	内容	対象	期間(予定)
北日本図書館宮城大会、宮城県公共図書館総合研修会	図書館活動についての講演、事例研究を行い、図書館振興を図る。	図書館 公民館 学校関係者 一般県民	6月29日(木)・30日(金)
北日本地区図書館研修	図書館職員の資質向上を図るための中堅職員を対象に、専門的な知識、技術の習得を図る	図書館司書 (勤務3年以上)	11月21日(火) ～11月24日(金)

## 7 平成18年度協力業務予定表

- 1 協力貸出資料（相互貸借資料含む）は、毎週水曜日に宅配便で発送。返却日は、30日後の金曜日。
- 2 市町村図書館等への相談業務は、7コース（①～⑦）で巡回相談を実施。  
その他、公民館図書室等の相談業務は、随時行う予定。

平成18年4月1日現在

コース	巡回図書館	巡回予定日		
①	本吉町立図書館 気仙沼市図書館	4/13 (木)	7/13 (木)	12/21 (木)
②	南三陸町図書館 石巻市図書館 東松島市図書館	4/28 (金)	7/27 (木)	1/11 (木)
③	栗原市立図書館 加美町中新田図書館	5/11 (木)	8/3 (木)	2/15 (木)
④	登米市立迫図書館 美里町小牛田図書館 大崎市図書館	5/18 (木)	8/24 (木)	2/22 (木)
⑤	岩沼市図書館 亘理町立図書館 丸森町立金山図書館	6/1 (木)	9/7 (木)	3/1 (木)
⑥	利府町図書館 塩竈市民図書館 多賀城市立図書館 名取市図書館	6/15 (木)	9/28 (木)	3/8 (木)
⑦	角田市図書館 白石市図書館 蔵王町立図書館	6/22 (木)	10/5 (木)	3/15 (木)

※ 諸事情により、巡回日程や巡回時間が変更される場合があります。

## 8 宮城県図書館協議会

図書館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、図書館の奉仕活動について意見を述べる機関。

### 第28次宮城県図書館協議会委員

(任期：平成18年3月1日～平成20年2月29日) 平成18年4月1日現在

氏名 (五十音順)	役職名	備考
秋 月 治	宮城大学事業構想学部教授	
石 田 義 光	東北学院大学文学部教授	
遠 藤 幸 生	宮城県古川黎明中学高等学校長	
齋 藤 弘 子	NHK山形文化センター講師	
関 口 怜 子	ハート and アート空間BEI 代表取締役	
埴 浦 功 夫	仙台市民図書館長	
永 野 為 和	河北新報社取締役編制総務室長兼メディア局長	
二 瓶 瑠璃子	加美町中新田図書館副館長	
野 家 啓 一	東北大学副学長・附属図書館長	
渡 辺 好 子		

## 9 平成17年度利用統計

### (1) 開館日数・入館者数・個人貸出冊数・図書館間貸借冊数・調査相談件数（月別）

	開館日数 (日)	入館者数 (人)	個人貸出冊数(冊)				図書館間貸出(冊)			図書館間借受(冊)				調査相談 (件)
			計	内訳			計	内訳		計	内訳			
				一般	児童	視聴覚		県内へ	県外へ		県内	県外	国会図	
17年4月	25	45,764	83,717	49,742	16,672	17,303	1,825	1,648	177	46	33	13	0	2,855
5月	25	50,354	87,730	52,626	16,646	18,458	1,925	1,724	201	82	62	20	0	3,063
6月	25	51,427	84,006	50,853	15,926	17,227	2,250	2,060	190	98	40	58	0	2,904
7月	26	58,019	99,161	57,355	22,527	19,279	2,150	1,928	222	82	46	36	0	3,878
8月	25	58,258	91,415	52,527	21,340	17,548	1,814	1,670	144	75	41	34	0	4,730
9月	25	51,075	85,076	50,733	17,266	17,077	1,994	1,814	180	100	64	36	0	3,710
10月	25	51,009	88,949	52,264	18,743	17,942	2,031	1,853	178	104	61	43	0	3,661
11月	25	49,479	85,343	50,427	17,705	17,211	2,452	2,258	194	79	41	38	0	3,671
12月	23	39,453	76,117	45,128	16,134	14,855	2,025	1,851	174	79	38	41	0	2,810
18年1月	18	34,700	66,597	40,383	13,030	13,184	1,811	1,670	141	64	34	30	0	2,794
2月	18	33,912	63,889	37,314	13,392	13,183	2,265	2,115	150	64	33	31	0	2,826
3月	26	46,417	85,239	48,485	19,082	17,672	1,964	1,792	172	73	46	27	0	2,783
合計	286	569,867	997,239	587,837	208,463	200,939	24,506	22,383	2,123	946	539	407	0	39,685
前年度	285	605,559	1,039,410	617,433	212,907	209,070	24,106	21,856	2,250	1,184	492	678	14	44,770

### (2) 複写サービス状況

イ 種類別枚数 ( ) 前年度

種別		枚数
電子複写	白黒	171,592 (185,175)
	カラー	587 (595)
マイクロフィルム		17,557 (15,969)
写真撮影		22,741 (121)
計		212,477 (201,860)
月平均		17,706 (16,822)

ロ 受付窓口別枚数 ( ) 前年度

窓口	枚数
一般図書 カウンター	28,709 (29,864)
調査相談 カウンター	26,662 (32,274)
新聞雑誌室	63,659 (71,369)
みやぎ資料室	93,447 (68,353)
計	212,477 (201,860)

( ) 前年度

## (3) 利用登録者数(個人)

	17年3月末現在		18年3月末現在		
	203,586人 対前年比 14,135人増		215,114人 対前年比 11,528人増		
居住市町村別内訳 (構成比の多い順)	登録者数	構成比	登録者数	構成比	
仙 台 市	156,626人	77.0%	165,114人	76.8%	
区 別 の 内 訳	青 葉 区	50,626人	24.9%	53,406人	24.8%
	宮 城 野 区	15,055人	7.4%	15,890人	7.4%
	若 林 区	6,669人	3.3%	7,030人	3.3%
	太 白 区	14,946人	7.3%	15,659人	7.3%
	泉 区	69,330人	34.1%	73,129人	34.0%
富 谷 町	12,885人	6.3%	13,769人	6.4%	
大 和 町	4,707人	2.3%	4,971人	2.3%	
利 府 町	3,687人	1.8%	3,904人	1.8%	
多 賀 城 市	3,185人	1.6%	3,392人	1.6%	
名 取 市	3,066人	1.5%	3,223人	1.5%	
古 川 市	2,483人	1.2%	2,714人	1.3%	
塩 竈 市	2,241人	1.1%	2,408人	1.1%	
そ の 他	14,706人	7.2%	15,619人	7.2%	



## 10 所蔵資料整備状況

(平成18年3月31日現在)

### (1) 図書資料・視聴覚資料

図書資料	数量
一般図書	631,684
洋書	16,778
ハンゲル資料	1,299
中国書	5,795
郷土資料	52,851
和古書	38,415
漢籍	18,886
地図資料	9,591
貸出用児童書	57,691
保存用児童書	79,237
貸出用紙芝居	713
街頭紙芝居	5,333
教育紙芝居	1,473
電子図書	922
マイクロフィルム	16,105
館外用図書	11,439
図書資料小計 (前年度)	948,212 (929,211)

視聴覚資料	数量
16mm フィルム	1,683
録画テープ(Uマチック)	24
録画テープ(ベータ)	30
録画テープ(VHS)	14,204
8 mm フィルム	18
CD-ROM(主に映像)	339
レコード	5,871
コンパクトディスク	15,754
楽 譜	10,591
レーザーディスク	2,339
D V D ビ デ オ	1,720
カセットテープ	4,295
オープンリールテープ	773
スライドフィルム	1,174
視聴覚資料小計 (前年度)	58,815 (57,517)

総 計 (前年度)	1,007,027 (986,728)
--------------	------------------------

### (2) 逐次刊行物所蔵タイトル数

区 分	配架場所	所蔵タイトル数(種)	うち購入(種)
雑 誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	8,006	455
	みやぎ資料室	2,219	20
	子ども図書室	159	14
年鑑・年報	新聞雑誌室	2,615	253
	子ども図書室	8	
行政資料	新聞雑誌室	1,993	180
	みやぎ資料室	1,959	1
新 聞	新聞雑誌室	590	67
	みやぎ資料室	270	
	子ども図書室	2	2
総 計 (前年度)		17,821 (16,932)	992 (1,046)

## 11 所蔵資料目録刊行状況

(昭和29年以降)

刊行年月	目 録 名
昭和29. 4	宮城県図書館蔵郷土文献目録 伊達文庫, 小西文庫, 今泉文庫, 大槻文庫及び在来本館所蔵古文書より採録
37. 3	宮城県図書館蔵書目録 1. 郷土資料篇
38. 3	〃 2. 総記篇
39. 1	〃 3. 哲学篇
40. 1	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録
41. 3	宮城県図書館蔵書目録 4. 歴史篇
42. 3	〃 6. 自然科学篇
45. 3	〃 9. 芸術篇
46. 3	〃 10. 語学篇
47. 3	〃 8. 産業篇
48. 3	〃 5. (上)社会科学篇 政治, 法律, 経済
49. 3	〃 5. (下)社会科学篇 財政, 統計, 社会, 教育, 民俗, 軍事
52. 12	宮城県図書館所蔵戊辰史関係資料目録 (昭和52年12月現在)
53. 12	宮城県図書館所蔵仙台領内交通史関係資料目録 (昭和53年12月現在)
54. 3	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録 (昭和53年12月31日現在)
55. 3	宮城県郷土資料総合目録
56. 3	〃 一県人著作・行政資料篇一
57. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 (昭和56年12月31日現在)
58. 3	小西文庫和漢書目録
59. 3	青柳・今泉・大槻・養賢堂文庫和漢書目録
60. 3	宮城県図書館漢籍分類目録
62. 3	伊達文庫目録
63. 3	宮城県内公共図書館所蔵逐次刊行物総合目録 (昭和62年5月1日現在)
平成元. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 (第二編) (昭和63年12月31日現在)
2. 3	宮城県図書館所蔵雑誌所収児童文学関係文献目録
3. 3	宮城県図書館和古書目録
4. 3	宮城県郷土資料件名標目表
5. 3	宮城県図書館所蔵絵図・地図解説目録
6. 3	宮城県図書館の貴重書 (一般古書編)
9. 3	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM
10. 10	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM (1997年版)
12. 3	宮城県版 I S B N 総合目録 CD-ROM (その後, 年2回の頻度で最新版に更新)
15. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 CD-ROM
16. 3	宮城県図書館所蔵紙芝居目録 CD-ROM

## 12 特殊文庫

### (1) 伊達文庫

もと仙台藩主伊達家の旧蔵書で、昭和24年に購入したもの。和古書3,253点（19,197冊）、漢籍666点（9,980冊）、洋書251点（504冊）、合計4,170点（29,681冊）。

堀田正敦編の『禽譜』、光悦本『謡本』、大槻玄沢の『厚生新編』、仙台藩関係の絵図、古版本、古写本等の貴重書を多数含む。

### (2) 小西文庫

仙台の旧家小西家の蔵書で、昭和22年に同家より寄贈されたもの。和古書1,303点（3,147冊）、漢籍271点（1,213冊）、合計1,574点（4,360冊）。

玄沢自筆『育才呈案』、藤塚知明の名山蔵文庫本、古医学書のほか和漢の典籍を含む。

### (3) 青柳文庫

仙台藩内から江戸へ出て成功した商人、青柳文蔵の寄付によって作られた「青柳文庫」の旧蔵書。

明治14年の本館創立に際し、宮城師範学校から引き継いで、養賢堂蔵書とともに本館蔵書の母体になった。和古書311点（1,468冊）、漢籍156点（1,995冊）、合計467点（3,463冊）

### (4) 養賢堂文庫

仙台藩校「養賢堂」の旧蔵書で、明治14年の本館創立に際し、宮城師範学校から引き継いだもの。和古書196点（727冊）、漢籍67点（1,008冊）、合計263点（1,735冊）。和古書と漢籍の善本に特色がある。

### (5) 大槻文庫

『言海』の著者、大槻文彦の旧蔵書。昭和25年、大槻家より寄贈されたもの。和古書71点（215冊）。いずれも大槻家の学問を知るための貴重な資料であるが、中でも『言海』の自筆原稿は白眉である。

### (6) 今泉文庫

漢詩人、郷土史家の今泉篁州の旧蔵書で、昭和14年に寄贈されたもの。ほとんどが和書で78点（188冊）。

### (7) 出来文庫

宮城県出身の英語学者・斎藤秀三郎（1866～1929年）の研究者である、出来成訓教授（神奈川大学）から平成16年に寄贈されたもの。斎藤の代表的著作『斎藤和英大辞典』（1928年）や斎藤が設立した正則英語学校（東京神田）の教科書類、講義録等251点。『英文鑑』（翻刻）等、日本の英学史における貴重資料も含まれている。

### (8) その他の文庫等

- ・元宮城県図書館長で郷土史家の佐々久氏寄贈の同氏所蔵コレクション「佐々久文庫」
- ・宮城県出身の書誌研究家、庄司浅水氏の収集による近代文学作家の肉筆草稿・書簡類
- ・政治家の庄司一郎氏の旧蔵書（和書を含む約8,700冊）で昭和53年に寄贈された「庄司文庫」
- ・昭和63年まで約30年間、仙台で街頭紙芝居をしていた井上藤吉氏から平成7年に寄贈された「井上コレクション」（手描きの紙芝居 5,320巻、53,662枚）

### (9) その他の貴重書

- ・坤輿万国全図（国指定重要文化財）  
1602年（慶長7年）イタリア人宣教師マテオ・リッチが北京で刊行した世界図。同版は、本館のほか、京都大学附属図書館及びバチカン図書館の3館で所蔵が確認されている（ほかに、世界図の部分を取り取って貼り直したものが内閣文庫に収蔵されている）。
- ・仙台版木  
松島町大宮司家及び瑞巖寺から寄贈されたもの。江戸時代の仙台最大の版元伊勢半のものと伝えられる仙台版木1,700枚等。

## 13 図書館のあゆみ

- 明治14年7月 宮城書籍館を仙台市勾当台通28番地 宮城師範学校内に創設（25日）。講堂（116㎡）を閲覧室，書庫（66㎡2階建）を業務室と書庫に利用。蔵書数17,682冊。
- 25年5月 大槻文彦（当時の尋常中学校長 国語辞典『言海』の著者）が第8代館長を兼務。
- 26年1月 宮城師範学校移転後，附属小学校校舎を修築し，延304㎡の独立館舎となる。
- 40年4月 名称を宮城県立図書館と改称。
- 大正元年10月 現在の勾当台公園南辺に独立館舎新築落成（延面積1,740㎡，蔵書数68千冊）。
- 8年11月 名称を宮城県図書館に改称。
- 昭和6年10月 宮城県図書館創立50周年・青柳文庫創立100周年記念式典を挙（13日）。
- 8年10月 図書館令により宮城県中央図書館に指定。
- 20年4月 戦災を避けるため貴重な図書類（8,557冊）を宮城町上愛子の石垣彦左エ門，同町芋沢の佐藤兵之進両家の土蔵に疎開する。
- 20年7月 仙台空襲のため館舎，書庫及び図書類全焼（9日深夜～10日早朝）。
- 24年11月 宮城県庁西側（旧養賢堂跡地）に図書館落成（建築面積725㎡，延面積1,091㎡）。
- 24年12月 伊達家より伊達文庫約35,000冊を購入（25日）。
- 25年3月 大槻文庫79種，214点が寄贈される。
- 31年4月 国立国会図書館よりPBレポート（米国商務省内のReport of Publication Board）の貸与を受け，東北大学内に宮城県図書館分室PBレポート東北地区センターを置く。
- 33年12月 児童会館（新坂通）に「分室こどもとしゃかん」を開設し児童書を移管。
- 37年4月 PBレポートセンターを東北地区科学技術資料館と改称。
- 38年4月 宮城県図書館館則の公布，施行。
- 39年10月 宮城県図書館新築に関する請願について，県議会厚生文教常任委員会において採決。
- 40年9月 宮城県議会において，起債3,000万円が決定し補正予算5,000万円計上提案され，県図書館新築決定。
- 40年12月 仙台市榴ヶ岡5番地を図書館用地にするため，県開発公社と孝勝寺役員代表（所有者）が土地売買契約締結（用地面積3,781.25㎡）。
- 41年1月 昭和41年度図書館建築費国庫補助金1,500万円交付決定。
- 41年5月 宮城県教育委員会行政組織規則の施行に伴い，総務課，資料課，奉仕課の3課制を実施。
- 42年1月 仙台市榴ヶ岡5番地に県図書館新築のため，起工式挙（行）。
- 43年1月 昭和43年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催。  
宮城県図書館を仙台市榴ヶ岡5番地に新築落成，開館（18日）（延面積4,040㎡，蔵書19万冊）。
- 昭和31年4月東北大学内に設置した東北地区科学技術資料館を新館に移転。
- 43年9月 配本車の運行開始，県内69市町村に配本所設置。
- 44年4月 宮城県図書館利用規定（昭和44年4月1日社第469号承認）を制定，施行。
- 44年7月 移動図書館車「こかげ号」運行開始。県内23市町村を対象にへき地を選び53駐車場を設置。
- 45年1月 宮城県図書館協議会規則公布，施行。
- 49年10月 昭和49年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催。
- 50年10月 昭和50年度全国公共図書館整理部門研究集会開催。
- 51年3月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により3課7係を設置。
- 52年5月 第28回北日本図書館大会開催。
- 53年6月 宮城県沖地震（12日）。地震による被害のため6日間休館。
- 53年10月 移動図書館車「こかげ号」更新。
- 56年10月 創立100周年記念式典を挙（行）（31日）。
- 58年7月 本館北側に積層書庫を増築落成（建面積246.35㎡，延面積1,181.10㎡）。書庫増築工事に伴い，電動書架，積層書架，昇降機等を増設。
- 59年3月 創立100周年記念事業として『宮城県図書館百年史』を発行。

- 60年10月 国際青年年記念「みやぎ青年文庫」開設。  
全国図書館大会開催。
- 61年2月 日曜開館に伴う館則の一部改正（休館日）公布。
- 61年3月 利用規程の一部改正（閉館時間）。
- 61年4月 日曜開館始まる。
- 61年11月 『宮城県図書館協会だより』創刊。
- 62年9月 新書庫4・5層空調工事完了。
- 62年10月 仙台通産局特許情報閲覧室が太陽生命ビル内に開所したため本館での閲覧を休止。
- 63年4月 宮城県図書館協会研究委員会から研究報告「県内図書館サービスネットワークのありかたに関する研究」発表。
- 63年6月 コミネット仙台パソコン通信加入。通信開始（行事等の案内）。
- 63年7月 特集文庫「21世紀ライブラリー」開設（分類にNDC8版を採用）。
- 平成元年6月 宮城県図書館資料収集方針施行。
- 元年8月 松島瑞巖寺所蔵の仙台版木1,700枚を移管。
- 元年11月 特許公報類地方閲覧所を廃止。
- 2年3月 図書館情報ネットワークシステム調査委員会から教育長あて報告書提出。
- 2年6月 本館所蔵『坤輿万国全図』が国の重要文化財に指定。
- 3年2月 宮城県図書館館則の一部を改正する規則（休館日）公布。
- 3年3月 宮城県図書館協議会から館長あて協議会審査報告書『宮城県図書館の整備充実方策について』提出。
- 3年6月 協力車運行開始（5コース，月1回運行）。
- 3年7月 特集文庫「東北学ライブラリー」開設。
- 3年9月 有識者等からなる宮城県図書館建設委員会設置。
- 4年7月 秋篠宮，紀子さま両殿下来館（20日）。  
宮城県図書館建設委員会から県教育長あて「宮城県図書館建設基本構想」提出。
- 4年10月 第4回全国生涯学習フェスティバル協賛事業開催（3事業）。
- 6年3月 移動図書館巡回事業廃止。  
宮城県図書館情報ネットワークシステム概要設計完成。
- 6年4月 特集文庫「宮城学習の森ライブラリー」開設。
- 6年12月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』（着色）6幅修復完了。
- 7年1月 宮城県図書館調査専門会議設置。
- 7年4月 第3回宮城県図書館調査専門会議開催。
- 7年6月 平成7年度北日本地区公共図書館研究協議会，第46回北日本図書館大会，第11回宮城県図書館大会開催（於：仙台市）
- 7年9月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』6幅修復完了。
- 7年11月 宮城県図書館調査専門会議 報告書提出。  
新宮城県図書館起工式（仙台市泉区紫山一丁目1番地）。
- 7年12月 井上藤吉氏より「街頭紙芝居」4万点寄贈される。
- 8年9月 北海道・東北地区視聴覚ライブラリー研究協議会開催（仙台市）。
- 8年10月 北日本地区公共図書館研究協議会総務部門開催（仙台市）。  
利用者端末設置稼働・生涯学習情報提供システム稼働。  
宮城県図書館情報ネットワークシステム稼働。
- 8年11月 文化財保護課へ博物資料13点移管。
- 9年6月 宮城県教育改革推進本部図書館利用調整部会開催。
- 9年7月 新図書館運営検討調整部会開催。
- 9年8月 宮城県図書館（榴ヶ岡）閉館記念行事（最終映画会，図書館探検）。閉館（31日）。
- 9年9月 新宮城県図書館竣工。
- 9年10月 新館への移転開始。
- 10年1月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部4課9係制を設置。

- 10年3月 新館オープン（21日）。開館記念事業（コンサート・上映会・図書館探検）。
- 10年11月 祝日開館試行始まる。
- 11年2月 宮城県図書館協議会より県内図書館の振興策について答申。
- 11年4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部4班制を設置。
- 12年4月 祝日開館本格実施。  
図書館作成ホームページ公開（20日）。  
本館所蔵『仙台城下絵図』等13点が仙台市指定有形文化財に指定（28日）。
- 12年6月 子ども読書年記念行事開催。
- 13年3月 県庁文書（5,130冊）を宮城県公文書館へ移管。
- 13年4月 インターネット蔵書検索システム公開（1日）。  
館内利用者用蔵書検索システム更新（1日）。
- 13年7月 宮城県図書館創立120周年記念特別展示「青柳文庫展」開催。
- 14年2月 古文書（購入分、約15,000点）を東北歴史博物館（宮城県多賀城市）へ移管。
- 14年3月 図書館情報ネットワークシステム（館内業務用図書館システム、市町村図書館ネットワークシステム）更新。  
宮城県内図書館総合目録（横断検索）システム公開（1日）。  
音と映像のフロア機器更新。
- 14年6月 図書館ホームページ内でメールによるレファレンス受付開始（8日）。
- 14年11月 学都仙台オンライン目録（東北大学附属図書館提供）に参加（25日）。
- 15年1月 本館所蔵『禽譜』『観文禽譜』ほか8資料が県指定文化財（書籍）に指定（31日）。
- 15年2月 特別展「きらめく叡智と美のしずく展 ―図書館新館五周年記念・宮城の至宝展―」開催（2月11日～3月28日）。
- 15年4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部5班10担当制を設置。
- 15年5月 三陸南地震（26日18時24分ごろ、M7.0、最大震度6弱）。  
地震による被害のため6月15日まで臨時休館（月曜日等を除く休館日数17日）。
- 15年7月 本館所蔵『仙台領国絵図』『仙台城下絵図』等970資料が県指定文化財（歴史資料、書籍）に指定（1日）。
- 16年4月 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業―みやぎ文化資源の保存・活用事業の推進―が平成30年までの15ヵ年計画の予定でスタート。
- 16年6月 本館所蔵『音点春秋左伝詳節句解』等朝鮮古刊本262資料が県指定文化財（典籍）に指定（29日）。
- 17年1月 本館所蔵貴重資料を「叡智の杜Web」と題してホームページで公開。
- 17年4月 宮城県図書館資料収集方針を改正し、施行
- 17年7月 本館所蔵『環海異聞』『奥州名所図会』等6件35点が県指定文化財（典籍、歴史資料）に指定。また『北極出地度里程測量』3点が先に指定を受けた『伊能図』5軸の附属資料として追加指定。（26日）
- 18年3月 本館所蔵「紙芝居資料」5,652点が国の登録有形文化財（美術工芸品）に登録（31日）。

## 14 施設概要

---

敷地面積	55,278.74m <sup>2</sup>
構造	SRC 地上4階, 地下1階
建築面積	6,358.12m <sup>2</sup>
延床面積	18,100.63m <sup>2</sup>
収蔵能力	1,500,000冊

---

開架・閲覧室	面積	: 3,512.58m <sup>2</sup>
	開架冊数	: 300,000冊
	閲覧席	: 393席
利用者用検索端末	蔵書検索用	23台
	CD-ROM用	11台
	新聞DB用	3台
	インターネット用	5台
	生涯学習室用	1台
その他	: 雑誌架, 新聞差し, ベンチ	

---

音と映像のフロア	面積	: 523.10m <sup>2</sup>
音楽ブース	1人用	: 14台
	試聴用	: 6台
映像ブース	1人用	: 20台
	3人用	: 5台
	マルチメディア用	: 4台
開架冊数	: ビデオ6,000本, CD5,000枚, DVD1,500枚, 楽譜5,000冊	

---

子ども図書室	面積	: 452.25m <sup>2</sup>
	閲覧席	: 25席
その他	: 絵本架, 紙芝居架, 児童書架, 新着図書架, 児童雑誌・新聞架	
開架冊数	: 20,000冊	

---

閉架書庫	面積	: 3,134.39m <sup>2</sup>
	3階書庫	: 500,000冊
	4階書庫	: 700,000冊

---

駐車場 (敷地内)	面積	: 6,700m <sup>2</sup>	駐車台数	: 300台
-----------	----	-----------------------	------	--------

---

臨時駐車場	面積	: 約10,000m <sup>2</sup>	駐車台数	: 120台
-------	----	-------------------------	------	--------

---

## 15 利用案内

### ◇開館時間

火曜日～土曜日 午前9時から午後7時まで

日曜日・祝(休)日 午前9時から午後5時まで

\*朝の館内整理のためカウンターサービスは午前9時30分から

\*子ども図書室はいずれの日も午後5時まで

\*児童資料研究・相談室は次のとおり

水曜日～土曜日 午前9時30分から午後7時まで

火・日曜, 祝(休)日 午前9時30分から午後5時まで

\*生涯学習室は午前10時から午後4時まで(午後12時から午後12時45分までは閉室)

### ◇休館日

月曜日

\*月曜日が祝(休)日にあたるときは開館し, その翌日が休館日

館内整理日(毎月第1金曜日)

\*ただし1月については1月4日が休館日

\*第1金曜日が祝(休)日にあたるときは開館し, その直前の平日が休館日

特別整理期間(平成19年1月25日から2月7日まで)

年末年始(12月29日から1月3日まで)

### ◇交通案内

○JR仙台駅から車で約30分

○東北自動車道泉I.C.から車で約5分

○地下鉄泉中央駅から車で約15分

○地下鉄泉中央駅から宮城交通バスで約20分

泉中央駅バスターミナル3番のりばから, 宮城大学経由「泉パークタウン車庫前」行きで「宮城県図書館前」下車。又は寺岡・紫山経由「泉パークタウン車庫前」行きで「宮城県図書館入口」下車, 徒歩5分。



## 平成18年度 図書館要覧（第17号）

平成18年5月1日発行

宮 城 県 図 書 館

〒981-3205 宮城県仙台市泉区紫山一丁目1番地1

電 話 022-377-8441（代表）

F A X 022-377-8484

<http://www.pref.miyagi.jp/library/>

本文用紙は古紙配合率100%，白色度70%再生紙を使用しています。

この「平成18年度図書館要覧」は600部作成し，1部当たりの印刷単価は74円（税別）です。